

別紙 6

競技者登録制度の改正について(案)の修正

02版 平成18年11月

初版 平成17年11月

1. 主登録と副登録の改正について

主 旨

現状の登録制度において、主登録・副登録が認められているが、登録料については主登録加盟団体が徴収し、原則として、副登録加盟団体は書類申請のみで、登録料は発生しない。登録者数が減少傾向にある現状において、受益者負担の原則にのっとり、主・副登録共、登録料を徴収する新たな制度改革の提案である。

この制度改革により、加盟団体の財政基盤に寄与することは、勿論のこと、登録者にとっても、義務(登録料納付)を果たすことにより、明確な権利主張も担保することとなり、選手にとっても有益と考える。

改正前

選手は、主登録と副登録と、2ヶ所からの登録ができる。  
 学生(小～大)は、所属校と任意団体(SC, 友好団体等)、社会人は勤務先と任意団体の2ヶ所に登録できる。  
 大会毎に主登録と副登録、2ヶ所の所属名称を使い分けて使用できる。  
主・副両登録団体とも競技者登録手続きをしなくてはならない。  
 競技者の登録料について：主登録の団体からのみ徴収

改正後

- 選手は、第一区分登録と第二区分登録と、2ヶ所からの登録ができる。
- 第一区分は学校(小～大)と勤務先(企業：実業団)、第二区分は任意団体(SC、友好団体等)とする。
- 生徒、学生(小～大)は、所属校と任意団体(SC, 友好団体等)、社会人は勤務先と任意団体の2ヶ所に登録できる。
  - 第一区分における小体連・中体連主催大会のみ小・中学校からの登録は義務教育期間のため登録料は免除する。(02版 アンダーライン部分追記)  
 (登録団体名の例：〇〇中学校、〇〇小学校)
- 大会毎に、2ヶ所の所属名称を使い分けて使用できる。
- 第一・第二両登録団体とも競技者登録手続きをしなくてはならない。(競技者登録料については、第一区分登録団体・第二区分登録団体それぞれから発生する)